

～子どもは私たちの、ゆめ・みらい～
働く仲間のゆめ・みらい基金



ろうきん



こくみん共済
coop



連合沖縄



沖縄県労福協

基金レポート**2025**



職場・ご家庭へ

本書は、沖縄の「子どもの貧困」の解決に向けて立ち上がった本気の大人たちの活動記録です。

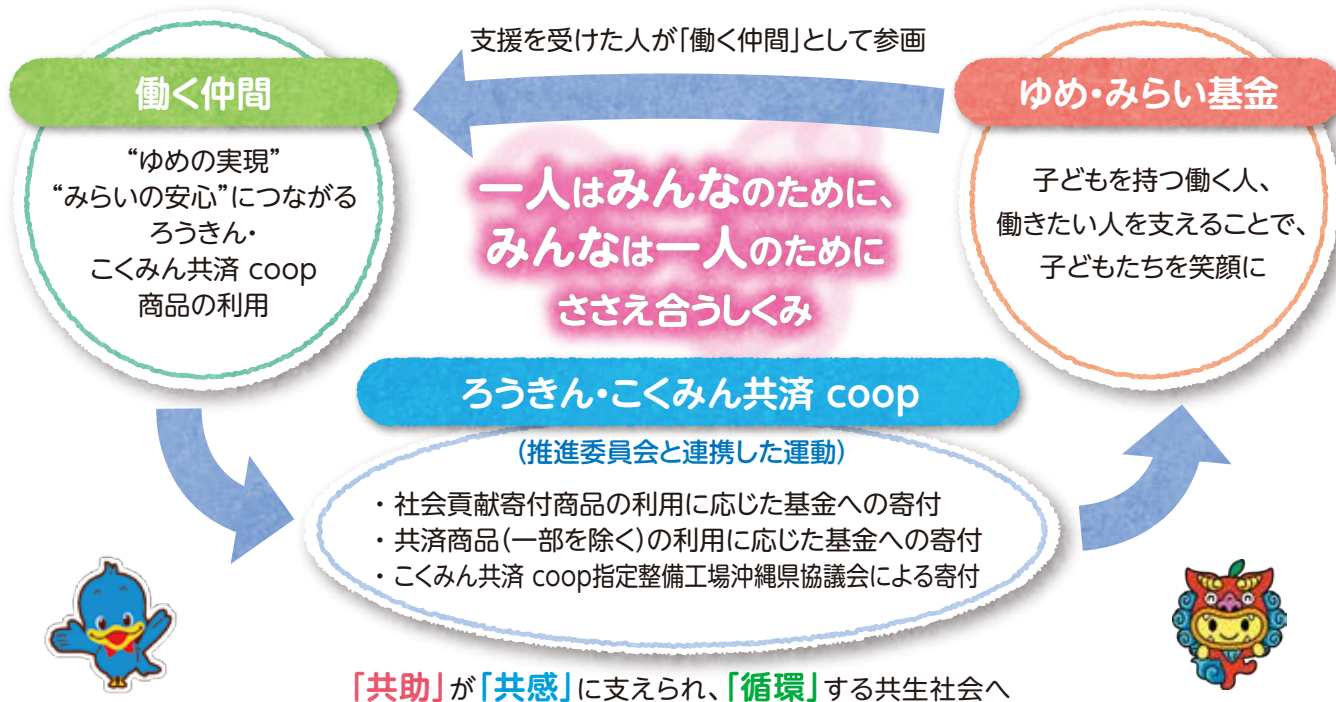
ゆめ・みらい基金
専用ホームページは
こちらから



ゆめ・みらい基金 🔍 検索

CONTENTS

- ◆4団体から感謝をこめて…………… P1
- ◆沖縄の子どもたちの「ゆめ」と「みらい」へ…………… P2
- ◆ゆめ・みらい基金を利用するには？…………… P3
- ◆基金活用による支援取り組み事例…………… P4～5
- ◆基金によせられた声…………… P6～8
- ◆組織的支援機関向けアンケートで寄せられた皆さまの声… P9
- ◆さまざまなアプローチによる支援の取り組み…………… P10～11
- ◆2024年度 収支報告…………… P12～13
- ◆労働者福祉事業をつうじた社会貢献…………… P14～15
- ◆基金運営事務局からみなさまへ…………… P16
- ◆支援団体一覧…………… P17
- ◆マルイチゴウマル〈0150ゆめ・みらい運動!〉について…………… P19



4団体から感謝をこめて



公益財団法人 沖縄県労働者福祉基金協会(沖縄県労福協)
常務理事 岡野 みゆき



「ろうきん・こくみん共済 coop 働く仲間のゆめ・みらい基金」へのあたたかいご支援と共感の輪に、運営事務局として心より感謝申し上げます。沖縄県労福協は本年、創立50周年という節目を迎えました。中央労福協が掲げる「貧困や社会的排除がなく、人と人とのつながりが大切にされ、平和で安心して働きくらせる持続可能な社会」の実現に向けて、子育て支援、生活

困窮者支援、就労困難者支援などに長年取り組んでまいりました。

物価の高騰により生活が一層厳しくなる中、必死で日々を乗り越えようとする子どもたちとそのご家族がたくさんいます。本基金では、単なる給付にとどまらず、支援機関が寄り添いながら生活再建へとつなげる「伴走型支援」を大切にしています。また、支援を受けた方が、今度は支える側に回り、50円からの寄付や車検入庫などを通じて基金に参加する「共助の循環」も生まれています—そんな“共感から生まれる共助の循環”が、また新たな支援へとつながる“共感の連鎖”となって広がっています。皆さまのあたたかな想いは、子どもたちの未来を照らし、希望となって届いています。

これからも「誰ひとり取り残さない社会」の実現に向け、共助と連帯の輪を広げながら活動を進めてまいります。今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



日本労働組合総連合会 沖縄県連合会(連合沖縄)
会長 仲宗根 哲



連合沖縄は、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け、賃金・労働条件の改善、平和を希求する取り組み、政策・制度、政治活動や社会貢献活動など、幅広く全県で取り組みを展開しています。

戦後80年の今年、世界では、戦争や紛争で子供たちの尊い命が失われ、心痛める日々が続く中、安心して暮らせる社会づくりや沖縄を2度と戦場にしないという歴史継承の重要さを感じています。平和でなければ安心社会はあり得ないからです。

私たちの暮らしは、物価の高騰に賃金の上昇率が追いつかず実質賃金はマイナスのまです。さらに車社会のわが県において、ガソリンの暫定税率が終了した事は生活に大きな支障をきたしています。

2025年度の最低賃金は、今後審議会での本格的な議論が始まります。私たちは、最低賃金1,000円以上の実現に向けて、社会全体の賃金底上げに向け取り組んでいます。こうした引き上げの動きが広く社会に浸透し、賃金全体の改善が進む事で、働いていても生活が苦しい状況にある方々にとっても、希望につながる明るい兆しとなる事が期待されます。

「こどもの貧困率」が全国最下位の沖縄県にとって、子どもたちが安心して成長できる社会の実現に親の雇用・貧困は大きな課題です。

連合は、すべての人が安心して暮らせ、子どもたちの夢と未来を応援する立場から、「働く仲間のゆめ・みらい基金」に参画し、社会貢献活動の重要な柱と位置づけ、各構成組織への呼びかけや寄付、0150運動、食糧支援活動を行い、共助の輪を広げています。昨年は、青年委員会を中心に年末食糧配布会～お福分け隊～にも積極的に参加しています。

これからも、誰一人取り残されない社会の実現に向け取り組んでいきます。



こくみん共済 coop 沖縄推進本部
本部長 砂川 安弘



「ろうきん・こくみん共済 coop 働く仲間のゆめ・みらい基金」は、労働者福祉事業団体が中心となり、沖縄県内で社会的課題となっている「子どもの貧困」や、その根本的な問題である「親の貧困」の解決・改善に向けた自立支援活動を通じて、共感の輪が着実に広がっています。

こくみん共済 coop 沖縄推進本部では2024年度も、「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」という理念のもと、社会課題の解決に寄与する取り組みを継続しています。子どもの交通事故防止を目的とした「7才の交通安全プロジェクト」や、子どもたちの健やかな成長を応援する「こどもの成長応援プロジェクト」に加え、「働く仲間のゆめ・みらい基金」の活動を、組合員・協力団体・労働組合・協同組合など多くの仲間とともに推進してまいりました。

また、こくみん共済 coop 指定整備工場では、2018年度より組合員の車検入庫台数に応じた基金への寄付を継続しており、2024年度も5,000台を超える入庫実績にもとづく寄付を行います。

沖縄の子どもたちが、安心して暮らし、夢や希望を持って未来へ歩んでいけるように、私たちは、地域の仲間とともに「たすけあいの輪」を広げながら、一人ひとりの可能性が輝く社会の実現を目指し、これからも心を込めて支援活動に取り組んでまいります。

今後とも変わらぬご愛顧のほど、何卒よろしく願い申し上げます。



沖縄県労働金庫
理事長 東盛 政行



沖縄県内各労働団体および会員団体構成員の皆さまのご協力のもと創設され、支援の輪を広げている「ろうきん こくみん共済 coop 働く仲間のゆめ・みらい基金」は、この間の「働く」につながる支援を基本方針として「子」を養育する「親」を対象に就労・生活支援や受験費用等の捻出が困難な就学生を対象にこどもたちの「夢」への支援を行ってまいりました。

沖縄県労働金庫は、2017年6月から基金の安定運営に向けた取り組みとして会員の皆さまのご協力による一口50円から始められる社会貢献活動として「0150ゆめ・みらい運動」を行ってきましたが、2024年3月に目標であった1万口を達成することが出来ました。2024年度は「1万口の維持」および「年間新規契約者240名」を目標に取り組み、特に融資申込時による定額自動寄附の呼びかけを行ったところ、2024年度末で10,562口、新規契約者375名の寄附申し込みがあり目標を達成することが出来ました。

基金の安定運営が維持できる会員・協力団体構成員の皆さまのご協力に心より感謝申し上げます。

この基金への寄附金が、「自助」と「公助」の間を埋めることで子どもたちの「夢」を諦めないという「希望」へとつながり、子どもたちの「自立」への一助につながっています。引き続き多くの会員・協力団体構成員の参画を広げてまいりますのでゆめ・みらい運動の推進、ご協力をお願いします。

これからも沖縄の子どもたちの明るい未来に向けて助け合いの精神から生まれた労働者福祉金融機関として働く仲間の皆さまと共に基金のさらなる運動の強化・結集をめざして取り組んでまいります。

結びに2025年は国際協同組合年(IYC2025)です。ろうきん含めた協同組合のことを広く知ってもらい、共感や信頼につながる協同組合の事業を利用する人、活動に参加する人、そして働く人を広げる取り組みを進め、「ともにWell Being」めざすべき姿として取り組んでまいります。

沖縄の子どもたちの 「ゆめ」と「みらい」へ

子どもたちにとっては、自分を好きと言える環境が必要

子どもたちの、今

沖縄県が公表した「令和5年度沖縄子ども調査」によると、昨今の物価高騰の影響を受け、生活が苦しくなったと感じているか尋ねた結果、45.5%と約半数が「おおいに感じる」と回答し、「ある程度感じる」の42.0%と合わせると87.5%と約9割が何らかの程度で生活が苦しくなったとの調査結果になりました。多くの世帯では、物価高騰の影響が子どもに直接及ばないように、保護者が自分自身のものをできるだけ節約していたが、低所得世帯やひとり親世帯では、食事、習い事、病院受診、学用品、衣服などについても支出控えをしないといけないほど、家計の破綻に追い込まれていることも明らかになっています。こうした世帯では、子どもの成長発達に直接的に影響を与える可能性すら生じていると考察されています。

働く仲間の、今

沖縄県の「子どもの貧困」の背景にある特徴は、「高い非正規雇用率」、「長時間労働」、「低賃金」など、労働者を取り巻く厳しい現実があります。「子どもの貧困」の解消には、労働世代である「親」の経済・生活基盤を安定させるための、「働くにつながる」、「収入向上」などの支援が必要であることや個人が抱えるさまざまな困難に寄り添い解きほぐすためには、それぞれに合わせた伴走型支援の取り組みが必要です。

「働く仲間のゆめ・みらい基金」とは？ ～子どもたちが「ゆめ」をあきらめない社会へ～

「子どもは私たちの、ゆめ・みらい」を合言葉に、次世代を担う子どもの“夢と未来を創造”することを目的に立ち上がった基金です。

(公財)沖縄県労福協、連合沖縄、こくみん共済 coop(全労済)指定整備工場沖縄県協議会、こくみん共済 coop、ろうきんは、「働く仲間のゆめ・みらい基金」を通して、会員・協力団体、そして県内の各労働団体と共に、「貧困の連鎖」を断ち、子どもたちの夢と未来を支えるための取り組みを協働で取り組んでいます。

基金による支援の柱

「子どもの貧困＝親の貧困」の改善、解決に向け、以下の「働く」につなげる支援に取り組んでいます。

養育する子がいる世帯の親などへの
就学・就労支援および生活支援等

親(世帯)の収入の安定化へ

資格取得等にチャレンジする就学生
(職業高校等の高校生)への支援

資格を持つことによる
希望職種(夢)への就職支援

若者への自立支援

社会に羽ばたく際の公的支援が
及ばない部分のサポートなど

基金の使途

移動手段確保支援、通信手段確保支援、資格取得支援、就職活動支援、就労開始・初期支援、生活安定化支援、子育てと仕事の両立支援、子ども・若者への支援、学業継続支援、高等学校における資格受験費用の支援など

ゆめ・みらい基金を利用するには？

◆申請方法について

ご本人と組織的支援機関からの共同での申請となります。
※ご本人からの直接申請は受け付けておりません。

ー「ゆめ・みらい基金」申請方法の特徴ー



組織的支援機関

市町村社会福祉協議会、生活困窮者自立支援機関など
本来業務として、継続的な就職・生活支援をしている組織

本人(親=世帯)と支援機関・員の共同申請＝“サポート付き”の給付

対象について

養育する子どもがいる世帯、自立に向けたサポートを必要とする若者等

応募資格について

- 公的制度・サービス・その他の社会資源などの支援がないことを原則としますが、公的支援がある場合でもそれだけでは不十分な場合についても支援します。
- 組織的支援機関と対象世帯は、基金による支援の効果が得られるまでの間、継続的な支援・関わりを前提とします。本人への支給・給付についても支援者を通じて行います。

助成額について

上限10万円以内 2025年度支援予算額:1,638万円

※但し、高等学校における資格試験受験費用の支援は5万円以内

ゆめ・みらい基金 専用ホームページ 開設しました！



相談者
(支援を受けたい方)



申請者
(支援機関)



寄付者
(個人・団体)



トピック一例

- お知らせ／活動報告
- 私たちの取り組み/事例
- 支援を受けたい方へ
 - ↳ 0150 ゆめ・みらい運動
 - ↳ 定額自動寄付申込書
- 基金収支報告
- 支援機関の方
 - ↳ 申請書ダウンロード
- Q&A
- 寄付をご検討の方
- お問い合わせ

ゆめ・みらい基金

🔍 検索



基金活用による支援取り組み事例

事例1 部活動を心の支えに、保護者からの経済的自立の強要に耐えながら部活動を継続したい

申請時の状況

- 本人(17歳)、母(40代)、義父(40代)、弟2人(8歳、小2:7歳、小1)の5人世帯。
- 母と義父はともに就労。義父から兄、姉、特に本人への暴言が強く、心身ともに安心して過ごせていない状況。兄と姉は高校卒業後に家を離れた。
- 弟の世話、バイトの強要、高校生活に必要な昼食費や送迎費を請求され、経済的に自立するよう言われている。
- 部活動を励みに、どうにか高校生活を送っている。状況を知る周りの大人の支えで、部活動に必要なユニフォームを購入し、部活動を続けられてきた。
- 本基金を活用し、部活動での必要品を購入することで、部活動を継続できる環境を整えたい。

その後

- 学習と部活動両方への意欲が高まり両立できている。
- 支援機関の支援を通して、保護者の収入が増えたため、アルバイト代を自分で使えるようになってきた。
- 支援機関は連携、メンタル面での支援を行いながら、引き続き経過を確認している。

事例2 疾患のある母との生活から、支援機関を頼りながらの自立へ

申請時の状況

- 本人(16歳)、母(30代)、弟(7歳)の3人世帯
- ひとり親世帯。母がダブル・トリプルワークによる過重労働により退職。退職後は精神的に不安定な面が目立ち、精神疾患を発症。
- 本人や周辺関係者に暴言や物を壊すなどの行為で入院することになった。役所や保健所等が支援し、弟は施設に入所し、本人は生活保護の申請に至り、現在一人暮らしをしている。
- 本人ひとりで、家計のやりくりを担う一方、学校生活における学習必需品購入や部活動に必要な費用の支払い目途が立っていない。学用品として必要なタブレットは就学援助で貸与可能だったが、母親が精神的に不安定な時期で申請できず、準備ができなかった。
- 本基金を活用することで、安心して生活し学校に通い、学校生活や部活動に専念できるような環境を整えたい。

その後

- 必要品を購入し、勉学に励んでいる。また、部活動に集中できるようになり、レギュラーを狙うまでに至っている。
- 以前の疲れた様子から、本人に少しずつ笑顔が見られるようになった。
- 支援機関に支えられながら、困ったときには自ら相談ができるようになっている。

事例3 子の夢を諦めさせないために

申請時の状況

- 本人(40代)、配偶者(50代)、子4人(17歳、15歳、11歳、10歳)の6人世帯
- 本人、配偶者とも就労しているが、自営業に近い就労形態で収入が安定せず、計画的な貯蓄が難しい。
- 次子中学時に糖尿病に罹患し、現在も定期通院中。当時の看病による収入減少を背景に、コロナ禍の影響を受け、家計バランスが崩れ始めた。
- 高校生の長子と次子の部活動での全国派遣が決まっているが、その費用や校納金滞納など、工面の目途が立っていない。

その後

- 遠征費を支払うことができ、本番で良い結果を残すことができた。
- 業務機会が増えたことによる増収で、家賃の滞納を早期に返済できる予定、加えて債務も完済した。増収を目指しダブルワークを検討している。

事例4 住居の確保と身辺整理で、生活の安定化を目指す

申請時の状況

- 本人(40代)、子3人(15歳、13歳、10歳)の4人世帯
- フリーランスとして働いていたが、コロナ禍の影響により収入が途絶え、非正規雇用で就労開始。
- 配偶者とは離婚についての話し合いをしており、離婚することは決まっているが、手続きなどは進んでいない。配偶者自身も単身での住居を確保し別居での生活を開始している。
- ひとり親の世帯状況となったため、それまでの生活状況が一変し収支のバランスが悪くなり、現在のアパートの家賃を2ヶ月滞納しており、強制退去となる可能性がある。
- コロナ特例貸付の返済猶予中のため、社会福祉協議会からの再度の貸付相談は難しい。
- 本基金を活用し、家賃滞納解消による住居確保と家計の安定に向けた支援を開始したい。

その後

- 家賃滞納解消後、本人の就労に加え副業による収入増、また離婚成立により本人が児童手当、児童扶養手当を受け取れるようになり、収入が安定し、生活も安定に向かっている。

基金によせられた声

家庭で経済的自立を求められている生徒を支援

【部活動用シューズの購入支援】

【支援を受けた方からの声】

今回 ゆめ・みらい基金で部活で使うサッカーのスパイクを買いました。部活動のことは自分でやってほしいと親にいいあてていて、お金が少なくて悩んでいたスパイクがこめられてしまい、相談して購入のかたちで支援してもらいました。無事試合に出ることができました。ありがとうございます。

※特別支援学校の生徒より

家庭の事情で、家族と離れて生活する生徒への支援

【学習のための備品購入の支援】

【支援を受けた方からの声】

ゆめ未来基金の力々へ、まずは自分のタブレット購入のための資金をくわえて本当にありがとうございます。自分の現状としては、半年前程に母がストレスなどの抱えすぎで統合失調症になってしまいそこからとても自分にとって辛い日々が初まりました。最初は独り言をいってたり、たまにおかしいことを言うくらいだったのですが、そこからどんどんエスカレートしていき、妄想、幻覚、幻聴はとんじんとひびくようになって3か月程たつと誰とも話さなくなり、毎日家に帰るのが怖くてとても苦しい日々が続いていました。そのように母は病院で治療を受けているのですが、正直自分もその日常が辛くて毎日家に帰るのが怖くてとても苦しい日々が続いていました。そしてそこから母は病院で弟は施設に行ってしまう、自分一人生活する日々が初まりました。そこから役場の人が色々な人との協力の元今も生活しています。当時はタブレットが学校で必要なものだったので、おさがとても高くても買えないと困っていました。ですがこのゆめ未来基金という方法があるしゆめ未来基金のおかげで今回とても助かりました。生活に困っている自分のために支援していただき本当にありがとうございます。この恩をしっかりといただきこれからがんばります。

【支援機関からの声】

この度は、ゆめ・みらい基金の支援を決定して頂き大変感謝申し上げます。

相談者のS君は現在、基金で購入したタブレットを活用して一生懸命勉強に励んでいます。また、家庭の事情で心配していた顧問の先生へ、遠征費代を支払うことができ、その後は気後れすることなく部活に集中することができ現在はレギュラーの座を狙うべく全力で練習に励んでいます。

基金を活用する前のS君の表情はとても暗く、大勢の大人（支援機関）からの関わりに戸惑いを感じて疲れている様子もありましたが、今では支援者に笑顔を見せてくれるようになりました。（タブレット購入時同行した際のS君のいきいきとした表情は忘れられません！）

タブレットについては、学校からの貸与と購入という選択肢もありましたが、申請時期には母親が起死回生の対応策のケアでそれどころではおぼろげに話していました。今回、皆さまから頂いた温かい支援は、S君の学業や部活動の向上だけでなく、未来への希望をもたらし下しました。大変感謝します。支援者にも、これからもS君が自分自身を大切にし、これからも頑張る姿を応援したいと思います。

家計の負担から受験を躊躇する生徒を応援

【資格取得を支援】

【支援を受けた方からの声】

支援してくれた、ゆめみらい英本校に挑戦することが
できました。合格することはできませんでしたが
次回も機会があればもう1回英本校に
挑戦します！
支援いただき、ありがとうございます。

修学旅行の参加をあきらめていた生徒への支援

【修学旅行のための物品購入の支援】

【支援機関からの声】

この度は、ゆめみらい基金の支援と決定して頂き、ありがとうございます。

相談者の世帯は、母子世帯で三男(中学2年)の修学旅行の準備費用が確保できず、参加と諦めようとしていたところでした。

ゆめみらい基金のおかげで、修学旅行に必要な物品の購入やおにぎりなどに充てることで、無事三男が修学旅行に参加できたと、大変感謝致します。三男もとても喜んで参加できたと聞いており、良い思い出になったのではないかと感じます。

修学旅行の出発日まで1か月時間が迫っているなか、迅速な対応をして頂き、本当にありがとうございます。

【支援を受けた方からの声】

この度は、ゆめみらい基金の審査を通り受理していただきありがとうございます。急な事にもかかわらず、市役所のパソコンサポートセンターの担当様に、ゆめみらい基金の担当の方とあわせて、息子も無事修学旅行へ送り出すことが出来ました。本当は行きたかったのに、家の事情で断念していた「修学旅行だよね」と言いつけていた息子。いつもが「お母さんお母さんお母さん」に、修学旅行まで行かないなら、お母さんに頼むとばかり。周りから旅行に行くと言った中、息子も先きに決めた友達に対しても「修学旅行だよね」とうなづいて、息子は申しわけなく「いいね」として。お母さん、一緒に買物もし、準備もすべて空港へ送る中で「お金は気にしないで、全部使っちゃっていいよ!! 楽しいでいいよ!!」と声をかけると「ん」と返事しました。学校からも楽しそうだったよ!と返信ももらいました。ここに書ききれないくらい本当に感謝しています。本当に本当にありがとうございます。お母さん、嬉しい状態はつづけて、パソコンのあかさも借りたから頑張ります。

【支援を受けた方からの声】

今回、初めて ゆめ・みらい基金の存在を知りました。
給付の決定をして頂きありがとうございます。
子どもの部活の遠征費で悩んでいたのが、無事に
行ける事が出来、おかげで本番では良い結果を
残す事が出来ました。
子どもの「夢」を諦めさせずに応援できました。
本当にありがとうございます。

【支援機関からの声】

この度はゆめ・みらい基金の支援金を給付していただき、誠に
ありがとうございます。
相談者はお子様が所属する部活で全国大会に行くことが決まったが、
その費用の捻出が難しいということも急口に来られました。お話を伺い
ると数年前にお子様の一人が病気になり、看病が必要になった時期が
あったことが減少し、家計のバランスが崩れているように感じました。
今回の給付のおかげで皆様は全国大会に行くことができ、最高の結果を
得ることができたと、普段感情をあまり出さない相談者が大変嬉しそうに
お話をしてくれました。お子様の看病で忙しい日々を過ごされていた中で、
ゆめ・みらい基金をきっかけに家計の見直しについて考えていただくことが
できました。相談者の家族が安んじて生活ができるよう、家計の見直しや
お仕事探しサポートを続けていきたいと思います。
ありがとうございました。

居の確保と身辺整理で、生活安定化を支援

【家賃滞納払いの支援】

【支援を受けた方からの声】

この度は、ゆめ・みらい基金の支援を決定して頂き、本当に
ありがとうございます。
離婚に向い、子ども3人、お父様の給料で9人ほど生活して
いけない状態に陥っていました。度々、1人では大変で、一人では
大変でした。支援の手を初めて知り、
支援機関の方にも大変心身に悩んでおり、一人では大変だと
思っていました。
この度は、手帳等に記入してはいけなかったが、感じさせてはいただけ
ないで、安定した生活が送れるようになった。今日まで大変な生活
が解消され、1人でも早く生活が
これから、どんな子どもたちの父親を7人で生活していく。
本当にありがとうございます。

【支援機関からの声】

ゆめ・みらい基金担当の皆さま

この度は、給付金の支給を決定していただき、ありがとうございました。
相談者世帯は、お子様が3名いる世帯ですが、主の給与収入のみで生活をして
おり、生活を優先すると家賃や光熱費の支払いまで家計をやりくりする事が難し
く、家賃滞納で、退去となりそうな状況でした。
ゆめ・みらい基金を活用して、滞納分の家賃を支払いする事ができました。
児童扶養手当や児童手当も決定し、今後は給与以外の手当も収入としてみる事
ができ、生活も安定していきそうです。本当にありがとうございました。

【就労開始・初期支援、就学継続支援・就学と子育ての両立支援】

- ◆学校の先生、親、祖母以外の大人と接することができる機会を得たことはとても大きな経験になっている。
- ◆高校を卒業し、就職先である東京都に引っ越しを行う。本人は県外での就職に不安を抱えている。その不安の一つに就職から1か月間の生活費と最低限必要な家電の購入であったが、今回の助成金で引っ越した日から安心して生活ができるということで安心を得ていた。就労定着として、今後もLINEや電話でやり取りを欠かさず行い、慣れない県外での一人暮らしの状況を把握しながら不安軽減の支援を行っていく予定。また助成金の使途のための領収証の管理なども含めて定期的に連絡を行う。本児は在学中に家事一切を担っていたことから簡単な調理はできるが、体調の管理も含めてこまめに連絡を行っていく。

【生活安定化支援】

- ◆『ひとり親世帯のため、生活を支えるために体調が悪くても一生懸命に働いてきた。でも足が限界の状態になり、療養のため休職したが次女の心疾患が判明したり、四女が受験前に持病のてんかんが悪化したり、経済的にも精神的にも追い込まれていった。生活保護の相談へ行ったがこどもの手当や傷病手当もあるため、難しそうと支援機関に繋がった。当時は生活費の不安から今思い返せば、心療内科に行かずによく済んだと思う程。傷病手当が入っても、すぐに支払いなどでお金はなくなるけれど、無事に本人の手術など困難を一つ一つ乗り越え、今がある。2023年10月から休職し、長い療養期間から仕事を探すのに不安もあるが、今の自分にできる仕事はないか。その仕事に就くために『職業訓練も視野に入れながら今後は動いていきたい』と面談のなかで聞いている。その際にはひきこもりの次女も主治医に確認しながら、障害福祉サービスへ繋ぐなど動けたら良いと考えている。
- ◆本世帯へ令和6年1月から支援を開始。食料の提供や水道光熱費等の支払いを支援する。同年5月の生活保護制度の受給を行うまでの間継続した支援を行っていた。生活保護期間中に就職し、生活の安定が見込まれたため令和6年11月をもって生活保護の利用を終了している。現在は自身の収入の範囲で家計の管理ができており、支援開始当初に比べて安定した生活を送ることができていると判断したため支援機関での継続した支援を終了している。本世帯から相談があればその都度対応している。

【子どもへの支援】

- ◆すでにヤングケアラー状況にあるこどもたちは虐待ともいえる状況にあり、色々なことを諦めてきた。また関わっていると諦め癖がついていることに気づく。そこに「ゆめ・みらい基金」を活用することで、やりたいこと・必要なことについて支援してもらえたということは、こども達の自信にもなっている。その自信が小さな行動からではあるが確実にいい変化となっている。(今まで親の言う通りにしてきたが、10回のうち2回くらいは「嫌だ」と気持ちをいうことができた。アルバイト代を請求されても渡すのを拒否することができるようになった。自分の将来について親と話すことができるようになったなど)
- ◆保護者もこどもの小さな変化の積み重ねを受け止めるなかで、保護者自身も変化している。具体的には私たちとの面談や学校、役場などにも拒否を示さなくなった。また経済的に困窮している保護者にとっては、こどもが助成金を受けることで親の負担も軽減されていくことで、「相談するメリット」を感じているように見受けられる。
- ◆母親は現在も入院中です。地域の方や母の友人の力を借りながら、現在、本人は一人で生活しています。今では、簡単な弁当を作ったり、洗濯をしたりと自分でもできることも多くなったと話してくれます。高校も休まず通学し、ゆめ・みらい基金で購入したタブレットのおかげで問題なく学生生活を送れています。ありがとうございました。部活動ではレギュラー争いに奮闘中です。生活費等については、支援機関の日常生活自立支援事業を活用し月に1度本人にお会いしサポートを行っています。

【職業高校における資格試験受験費用の支援】

- ◆経済的に厳しいが、学校で取れる資格試験、特にこの学科に在籍からこそとれる資格にはチャレンジしたい。進学のためにお金が必要なので、とても助かる。
- ◆今回13名に支援していただきましたが、全員無事資格を取得でき、それぞれ希望した進路を決定することができました。また、1月の後輩たちへの進路アドバイスでも資格取得の重要性を説明しており、成長を感じることができました。
- ◆基金を利用した検定受検後は、無事合格したこともあり、他の検定受検に対しても前向きに取り組む姿勢が見られ自己負担で受検した他の検定でも優秀な成績を修めることができた。次年度3学年に進学した後は就職・進学に向けて進路活動をしよう、と意欲的である。

📄 ゆめ・みらい基金を活用して、支援機関としての意見や感じたことをご記入ください

- ◆日々ギリギリ生活を送っている方が多いなか、入進学や部活動を始めたなど子供の変化により大きなお金が動き対応できない親御さんがとても多いです。親族の関係性も薄く、ひと昔であれば親族からのお祝い金で賄っていた費用もない世帯が多く「ゆめ・みらい基金」は支援する私たちにとっても必要

不可欠となっています。一生懸命働く親御さんが頑張ろうとしているお子さんを応援できるように私達支援者も家計の見直しや制度の案内、増収など生活の安定に向けサポートできればと思います。

📄 ゆめ・みらい基金に関してのご意見やご要望など

- ◆いつもご相談にのっていただき、ありがとうございます。非該当かとも思いながら相談する時もありますが、検討していただき有難く思っております。どうにもならない状況のなか、ゆめ・みらい基金が決まり受取って、安心した相談者を見て私も支援員としてほっとするひと時です。もうしばらく本ケースの支援も

続くと思いますが、自立に向けて私も寄り添っていきたいと思っています。ゆめ・みらい基金事務局の迅速な対応に感謝しております。これからも様々なケースを相談させていただきます。どうぞ宜しくお願い致します。

さまざまなアプローチによる支援の取り組み

ゆめ・みらい基金では個別の支援だけではなく、数多くの世帯・子ども達にアプローチするための取り組みを行っています。内容は、食糧品支援の他、「生理の貧困」解消に向けた支援、高等学校の資格試験受験費用値上げに向けた支援など多岐に渡りました。

高等学校における資格試験受験費用の支援実績

【2024年度支援実績】

給付金額	3,236,199円（2023年度 3,739,190円、前年比86.5%）
申請件数	174件（2023年度166件、前年比104.8%）

【職業高校における資格試験受験費用の支援】

- 経済的に厳しいが、学校で取れる資格試験、特にこの学科にいるからこそとれる資格にはチャレンジしたい。進学のためにお金が必要なので、とても助かる。
- 今回13名に支援していただきましたが、全員無事資格を取得でき、それぞれ希望した進路を決定することができました。また、1月の後輩たちへの進路アドバイスでも資格取得の重要性を説明しており、成長を感じることができました。
- 基金を利用した検定受検後は、無事合格したこともあり、他の検定受検に対しても前向きに取り組む姿勢が見られ自己負担で受検した他の検定でも優秀な成績を修めることができた。次年度3学年に進学した後は就職・進学に向けた活動しよう、と意欲的である。

食品・物品支援の取り組みについて

物価高騰が続く中、生活にゆとりがなく食料品や日用品の購入が厳しい世帯を対象に、お米やレトルト食品等を離島含む各地域で配布。2024年度は、連合沖縄、沖縄県労働金庫、こくみん共済 coop 沖縄推進本部、沖縄県勤労者互助会、全港湾沖縄地方本部等と連携し、那覇市と沖縄市の2会場で年末食糧配布会「ワクワク年末お福分け隊」を開催。両会場で合計327世帯へ安心して年越しができるよう食糧配布を実施しました。

配布地域		配布内容	支援額
2024年度 (12月)	生活困窮窓口、支援機関、 年末食糧配布会 等 ● 県内、離島（宮古、八重山）	お米 ● 県内3kg×400 ● 宮古3kg×50、八重山 3kg×50	539,115円
2023年度 (12月)	生活困窮窓口、母子支援機関等 ● 県内19機関、離島2機関	● お米	1,096,589円
2023年度 (8月～10月)	生活困窮窓口、母子支援機関等 ● 県内19機関、離島2機関	● お米、レトルト食品 ● 生理用品等の日用品	984,295円



❖ 「生理の貧困」解消に向けた協働取り組み

コロナ化で顕在化した「生理の貧困」という社会課題の解消に向けた一助として、沖縄県労働金庫、沖縄県教職員組合、(公財) 沖縄県労働者福祉基金協会の三者の協同で、「生理の貧困」解消に向けた取り組みを実施。学校現場に専門性を有する沖縄県教職員組合と連携し、生理用品の入手に困難を抱える児童・生徒へ「吸水サニタリーショーツ」を無償配布することで、生理用品の調達頻度や、それに係る精神的負担、経済的負担の軽減に繋がりました。

取り組み期間		配布内容	支援額
2024年度	7月19日～3月31日	●吸水サニタリーショーツ939枚 (小学生向け789枚)(中学生向け150枚)	830,412円
2023年度	6月1日～3月31日	●吸水サニタリーショーツ782枚 (小学生向け470枚)(中学生向け312枚) ※2022年度の在庫に加え、新たに小学生向け450枚、 中学生向け180枚、合計630枚を追加。	929,880円



吸水サニタリーショーツ無料配布についての感想やご意見について(一部抜粋)

- とても助かります。生理用ショーツは学校で貸したら新品を返却して貰うことになるので、貧困世帯や気になる児童へ、使用できます。ありがとうございます。
- 保健指導の月経指導の際、サニタリーショーツの存在を知らず、購入してもらえないと話す姉妹がいます。今回の無料配布をして頂く事業に感謝申し上げます。
- すごく助かります。私自身も、吸水サニタリーショーツを使ったことが無いので、職員の間でも話題になりました。ただ、洗う前に、手洗いが必要なので、児童、生徒にしっかり説明して配布しなければと思います。
- なかなか買いたくても、欲しくても我慢するしかない子どもたちに他の子どもたちと平等に同じものが持てる喜びを感じさせてあげることができ、とても素敵な取り組みだと思えます。本当にありがとうございます。
- 本校は生活困窮世帯の子どもたちが多くて、大変助かりました。ありがとうございます。
- 小学低学年の娘の生理が始まりました。私自身、生理用ショーツを購入したことが無かったため、娘に最適なショーツ選びが出来ずにいました。今回、無償配布をして頂いたことにより、娘へ最適なショーツ選びが出来ることと、生理用ショーツと他のショーツの違いを低学年のうちに知ることが出来たので、この取り組みは今後も続けて欲しいと思います。
- 初潮指導、保健指導等の最後に声掛けをし、家庭環境的に厳しそう(父子家庭など)な児童へ個別指導の際に使用しました。とても助かりました。
- 初めて貰いましたが、本校は、長時間トイレを我慢して漏れた生徒が何名かいたので、これがあれば凄く助かるなと思いました。ありがとうございました。
- 本校では父子家庭の女兒児童への配布を考えて、無料配布を利用しました。あとは「ほけんだより」で呼びかけて配布する方法を検討しています。学校から保護者、児童本人に『経済的な理由で…』といって配布しにくいので、募集という形をとりたいと思います。生理用品は予算で購入できるためトイレの個室にありますが、ショーツは購入できないため、とても助かります。ありがとうございます！
- とてもありがたいです。ありがとうございます。
- 昨年度から無償配布を利用しております。貧困家庭を中心に、気になる家庭へ配布でき助かっております。
- 不登校生との家庭訪問の際に生理用品とセットで届けました。担任からの申し出や、相談員等の情報から、必要と思われる生徒に配布し、とても助かっています。ありがとうございます。

❖ 2024年度「ろうきん こくみん共済 coop 働く仲間のゆめ・みらい基金」収支報告

(2024年4月1日～2025年3月31日)

基金の残高

【收入】

項 目	金 額 (円)	内 容
前期繰越金	26,096,881	
団体寄付金	5,587,739	各労働組合様による
個人寄付金	5,269,000	0150ゆめ・みらい運動(定額自動寄付)等
ろうきん 社会貢献寄付商品拠出金	1,707,000	
ろうきん 感謝祭寄付金	1,100,000	
こくみん共済coop 沖縄推進本部 社会貢献寄付商品拠出金	1,255,200	
こくみん共済coop 指定整備工場沖縄県協議会	1,108,000	各指定整備工場の車検入庫分
合 計	42,123,820	

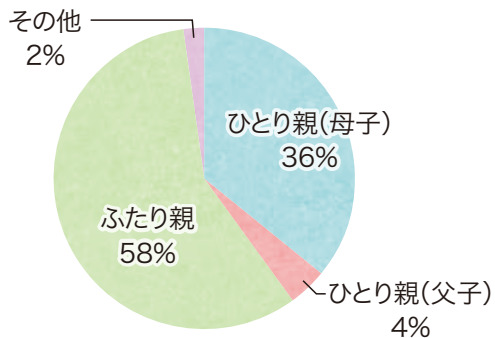
【支出】

項 目 (使途別)	金 額 (円)	件 数	内 容
①移動手段	0	-	
②通信手段	0	-	
③資格取得	0	-	
④就職活動支援	162,217	1	教材費
⑤就労開始・初期	118,000	1	入社研修のための移動費
⑥生活安定化	2,521,981	26	光熱費、家賃(転居費)、食費、通信費、税金、車両費他
⑦子育てと仕事の両立	0	-	
⑧子どもへの支援	2,055,714	21	進学準備品購入(制服、体操着、パソコン・タブレット等)、 修学旅行、自動車運転免許取得
⑨若者への自立支援	100,000	1	進学に伴う転居(離島から本島)および家財道具購入
⑩就学と子育ての両立	436,100	7	子の一時預かり(6件:¥326,100)、学費納付(大学就学継続)
⑪職業高校・資格試験	3,227,099	174	電気工事士、電気主任技術者、ガス溶接講習、車両系建設機械運転 技能講習、情報処理検定、日本語ワープロ検定、文書デザイン検定等
⑫その他	148,000	1	検診、出産費用(自己負担分)、家賃・光熱費
⑬移動手段(貸出)	0	1	自転車貸出
⑭通信手段(貸出)	925,980	1	Wi-Fiルーター使用料(20台)
⑮パソコン貸出支援	1,027,443	4	ノートパソコンリース(13台)
⑯学習教材貸出支援	0	1	ライフリテラシーボード(社会保障制度学習ゲームボード)
⑰コロナ・物価高による支援	1,369,527		年末食糧配付(米・各種食糧品)、生徒への生理用品の配付
⑱民間支援団体等助成金	1,200,000		一般社団法人共育ステーションつむぎ
小 計	13,292,061	239	232名
(その他)			
訓練センター及び、一時預かり支援活動 等会場維持費	1,361,049		那覇(建物賃借料、光熱水費、保険料、修繕費、エアコン清掃)、 宜野湾(エアコン清掃・光熱費)等
消耗品費	24,810		マット、蛍光灯交換
通信運搬費、燃料交通費	14,638		切手代
支払い手数料	6,614		振込手数料
会議費	24,000		基金運営委員報酬・謝金
租税公課	0		
広報費	145,670		パンフレット制作・印刷費、基金ホームページサイト改修
小 計	1,576,781		
合 計	14,868,842		

【収支計】

収 入 計	42,123,820円
支 出 計	14,868,842円
繰 越 金 額	27,254,978円

申請者世帯別割合

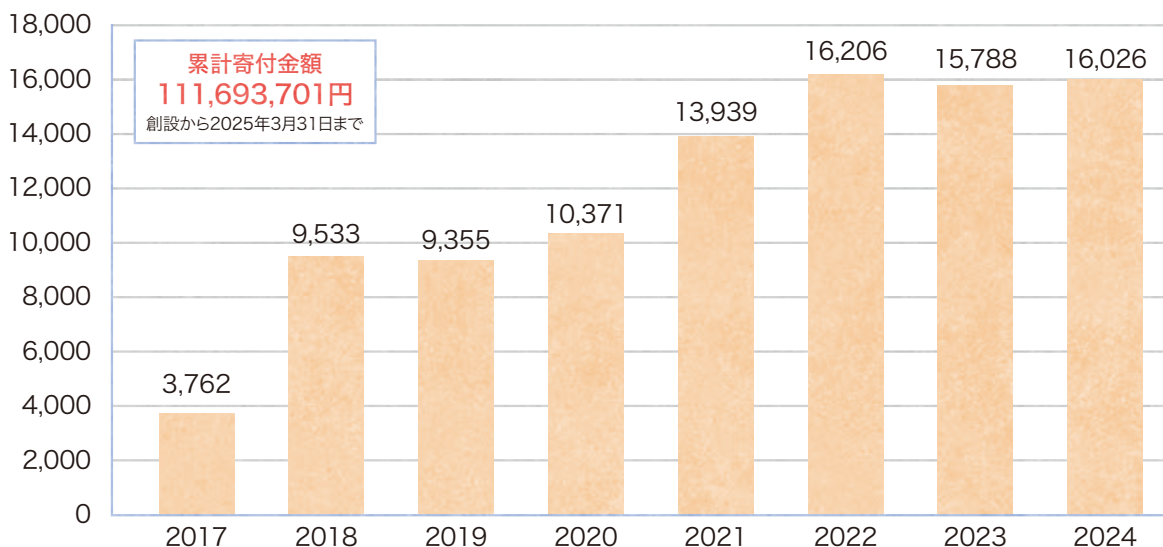


主な申請機関

- 1 生活困窮者自立支援事業(離島含む市町村)
- 2 高教組(各学校の先生方)
- 3 社会福祉協議会
- 4 母子生活支援施設
- 5 労福協自主事業
- 6 離島を含む各市町村窓口

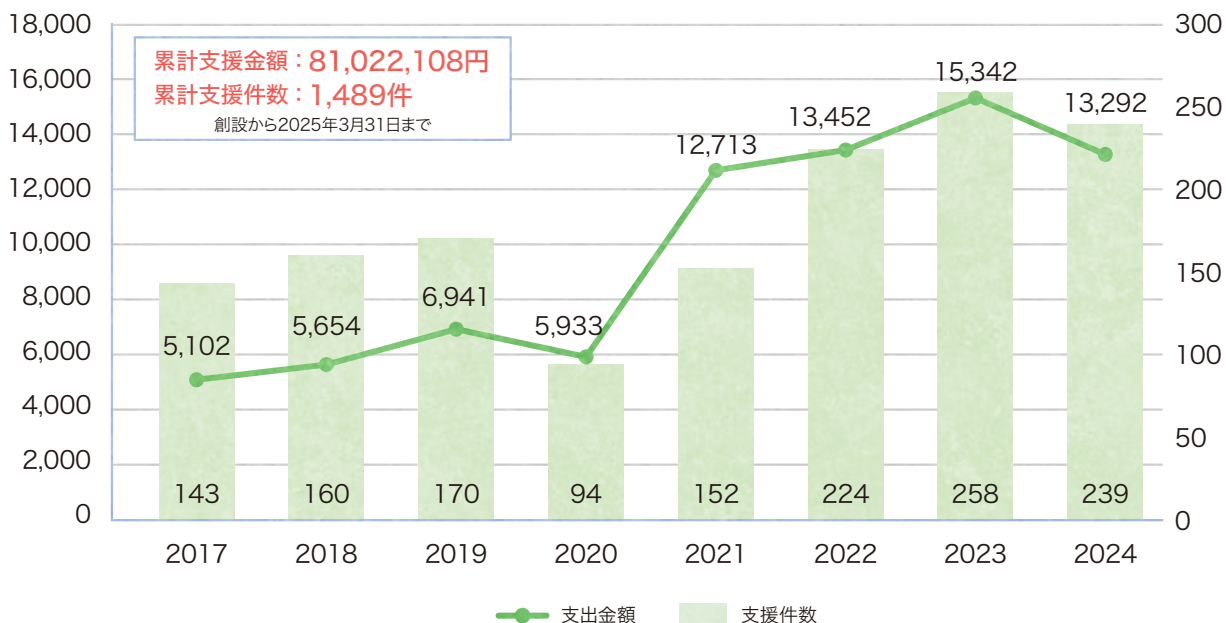
収入の推移

単位:千円



支出の推移

単位:千円



労働者福祉事業をつうじた社会貢献

●本取り組みによる寄付金の贈呈については2025年9月以降に予定しております。

ろうきんの取り組み

◆ 社会貢献寄付商品による基金の安定運営支援

ろうきんでは、ご利用いただいたお客さまの笑顔が、同じ働く仲間や、その大切な人の笑顔につながるよう、社会貢献寄付商品を選定し基金の安定運営を支援しています。2024年度につきましては、下記の社会貢献寄付商品の新規取扱い1件につき200円を(ろうきん)が負担し、総額1,829,400円(9,147件)の寄付金を拠出します。2016年度からの累計で、12,371,600円の寄付金を拠出し、基金の安定運営を支援しています。

対象商品（新規取扱い1件につき200円）	2024年度 新規取扱い件数
財形預金（一般・住宅・年金）	1,543件
エース預金	919件
福祉ローン	27件
教育ローン（証書貸付・カード型）	988件
自動車ローン	2,417件
カードローン（マイプラン）	3,043件
iDeCo（個人型確定拠出年金）	210件
合 計	9,147件

◆ 融資受付時における〈0150ゆめ・みらい運動!〉への参画の呼びかけについて

融資窓口や外訪先で融資申込を行うお客さま（これまでアプローチできていなかった方々）への声かけを行い、基金の安定運営に向け「1万口維持」および「年間新規契約者240名」を目標に多くの方々へ参画の呼びかけを行いました。

その結果、2024年度末で「10,562口」、「年間新規契約者375名」と目標を達成することができました。

こくみん共済 coop 沖縄推進本部の取り組み

◆ 共済商品利用、こくみん共済 coop 指定整備工場と連携した安定運営支援

すべての共済商品（慶弔共済、自賠責共済を除く）の新規契約件数に対して1件あたり100円の寄付を実施しており、2024年度の寄付金は1,291,400円となりました。

また、こくみん共済 coop 指定整備工場沖縄県協議会の各工場では、組合員の年間車検入庫台数に応じた寄付を行っております。2024年度は1台あたり200円、総額1,164,800円の寄付金となりました。

※こくみん共済 coop 指定整備工場については、P15をご覧ください。

対象商品例

こくみん共済	総合医療共済	せいめい共済
マイカー共済	住まいる共済	火災共済・自然災害共済
交通災害共済	団体生命共済	新団体年金共済

私たち沖縄県協議会が、この「ゆめ・みらい基金」の基金活動の趣旨に賛同し、寄付金による支援活動を行ってから8年目となります。2024年度は皆さまからのご協力により、各指定整備工場への寄付金対象となった車検入庫台数が5800台を超え、116万円を寄付することができました。私たち自動車整備事業者は、お客様の様々な自動車の整備を通して、地域の皆様に安全をお届けしています。

そして、この基金活動を支援することによって、沖縄県内の子どもたちが「ゆめ」をあきらめない安心して暮らせる、社会づくりに貢献していきたい思います。

引き続き、組合員の皆さまには、指定整備工場への車検入庫へのご協力をお願い申し上げます。



指定整備工場沖縄県協議会
会長 金城 宏

お見積り依頼は
こちらから



**あなたの車検が
沖縄の子どもたちを支えます**

沖縄県内の「こくみん共済 coop〈全労済〉指定整備工場」は、
車検入庫1台あたり200円を子どもたちの未来のために寄付します。



こくみん共済 coop
公式キャラクター
ビットくん

車検をするたびに、未来の子どもたちに200円の贈り物!

預けて安心、こくみん共済 coop〈全労済〉の指定整備工場ネットワーク

名護市
(株)北部自動車工業
(マツダオートザム北部)
〒905-0006 名護市宇茂佐1607
☎ 0980-52-0393
スーパーホテル信号を直進500m右

読谷村
喜友名自動車サービス
〒904-0322 読谷村波平1628
☎ 098-958-4885
タウンプラザかねひで読谷店信号をアブリ方向100m右

嘉手納町
(有)ナカダ自動車商会
〒904-0205 嘉手納町字兼久370-1
☎ 098-956-4602
ネーブルカデナ道向かい

うるま市
比嘉自動車整備工場
〒904-2224 うるま市大田500
☎ 098-973-5407
うるま警察署ななめ向かい

沖縄市
宮平自動車整備工場
〒904-0006 沖縄市八重島2-12-17
☎ 098-937-9496
市民会館近く、中部観光バス左隣

北中城村
照屋自動車整備工場
〒901-2304 北中城村屋敷原226
☎ 098-932-0147
ライカム交差点から普天間向150m左

宜野湾市
長浜モーター(有)
〒901-2205 宜野湾市赤道1-4-2
☎ 098-892-3719
宜野湾自動車学校から普天間神社向1300m左

西原町
(同)當山自動車販売
〒903-0129 中頭郡西原町千原58-1
☎ 098-946-6468
モスバーガー近く

(株)東日産自動車 車検のコバック西原店
〒903-0121 中頭郡西原町字内間480-2
☎ 098-917-1033
ハートライフ病院近く

(株)東日産自動車 車検のコバック浦添店
〒901-2125 浦添市仲西1-7-1
☎ 098-877-4003
キャンプキンザー仲西第1ゲート向かい

(株)ヒーロー
〒901-2101 浦添市西原6-1-6
☎ 098-878-4444
和風亭浦西店ならび、浦西中道向かい

人情くるまや 三和自動車(株)
〒901-2101 浦添市西原1-3-3
☎ 098-877-2107
パークレーズコート道向かい

(株)松川オート
〒901-2125 沖縄県浦添市仲西3-12-2
☎ 098-877-3181
琉球三菱自動車販売浦添店北側
税務署通り沿い

(株)松川オート 浦添メイクマン店
〒901-2133 沖縄県浦添市城間2670
☎ 098-943-6230
メイクマン浦添本店2階

那覇市
(株)新興自動車
〒900-0011 那覇市上之屋311
☎ 098-868-2821
エネオス天久店給油所隣

(有)久茂地オートサービス
〒900-0015 那覇市久茂地2-24-1
☎ 098-861-7482
ゆいレール美栄橋駅北口

(有)与那原自動車整備センター
〒901-1302 与那原町上与那原493-2
☎ 098-945-8181
与那原警察署より那覇向2つ目の信号を左へ100m

(株)大橋自動車販売
〒901-1104 南風原町宮平345-1
☎ 098-888-2411
イオン南風原店隣映画館道向かい

(株)南風原整備センター
〒901-1111 南風原町兼城526
☎ 098-888-1111
マックスバリュードイロ橋道向かい

(株)禅自動車サービス
〒901-1117 南風原町津嘉山1162-1
☎ 098-889-8810
南風原高校隣

海邦オートサービス
〒901-0231 豊見城市字我部666番地
☎ 098-987-1434
県道256号線沿い高港名島インター出入口近く

(株)ラッキー自動車商会
〒901-0417 八重瀬町外間169-1
☎ 098-998-8600
南部徳洲会病院ならび

南城市
(有)愛地モータース
〒901-0617 南城市玉城字愛地362-1
☎ 098-949-7641
稲嶺十字路を船越小学校向1.5km先右

糸満市
南部モータース
〒901-0303 糸満市兼城339-1
☎ 098-994-6200
ホームセンターカインズ向かい

(同) NK自動車
〒906-0012 沖縄県宮古市平良西里1306-3
☎ 0980-73-3333
県道78号線・MEGAドンキホーテより
ニトリ向1200m右側

(株)エコ・ビット
〒906-0015 宮古市平良字久良686-7
☎ 0980-72-2045
ファミリーマート久良店後ろ

石垣市
ロータス宮良自動車
〒907-0004 石垣市登野城869-5
☎ 0980-82-2216
「あこう木」斜め向かい

タイヤハウス マルキュー
〒907-0004 石垣市登野城869-1
☎ 0980-87-5809
タウンプラザかねひで空港向50m

タイヤハウス マルキュー
真栄里店
〒907-0002 石垣市真栄里448-1
☎ 0980-87-7919
八重山保健所西隣

(有)アイランドボディサービス
〒907-0002 石垣市真栄里440-15
☎ 0980-82-9039
ほっともっと石垣真栄里店隣

車検整備を受けられる際には、「こくみん共済 coopの組合員です」とお申し出ください。

●車検は2ヵ月前から受けられます。●電話番号をお確かめのうえ、おかけ間違いにご注意ください。

お父さん、お母さんが笑顔じゃないと、 子どもたちを笑顔にできない

ゆめ・みらい基金による支援を受けられた方へ

ゆめ・みらい基金は、仕事や子育てに励みながらも困難を抱えて生活している家庭への支援として「子どもたちの夢と未来を支えたい」「働く仲間を働く仲間の手で支えたい」といった働く仲間たちの想いがつまった基金です。

ゆめ・みらい基金での給付と関わっている支援者のサポートを組み合わせることで「働くこと」や「安定した生活が得られ」、子どもたちの「ゆめ・みらい」への1歩につながっていきます。そして、支援を受けた方の生活が安定し「次は支える側へ」という支援の循環を生み出すことが、同じように困難を抱える方を支える“心と心をつなぐ連帯の力”となります。ぜひ、本冊に掲載されている0150運動(定額自動寄付)やくろうきん・くくみん共済coopの取り組みを読んでいただき、出来る範囲で“心と心をつなぐ”共助拡大の運動にご参画ください。

基金を支援しているみなさまへ

はじめに0150ゆめ・みらい運動への参画をはじめ、日頃より支えてくださっている皆様に心より感謝申し上げます。皆様からの心のこもったご支援が、多くの困難な状況の中にいる方々の生活の改善に繋がっています。皆様一人ひとりのできる範囲の協力が、大きな力になり、子ども達の自立への一助となっています。

「子どもは、沖縄の次世代を担う宝です。」

運営事務局として、皆様の想いのこもった本基金を大切に活用し、子どもたちが辛い環境で多くのことを諦めることが無い社会、誰もが夢や希望を持ち、みらいへの可能性を広げられる社会となるよう取り組んでまいります。

今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

基金運営事務局 (公財)沖縄県労働者福祉基金協会



【贈呈式】一般社団法人沖縄全通共済会



【贈呈式】全駐労沖縄地区本部 青年部・女性部

私たちは、子どもの夢と未来を支える取り組みを共にすすめています

2023年度 団体寄付一覧 (50団体)

中村敦司法書士事務所互助会
 沖縄電力生活協同組合
 北部地区労働組合協議会
 那覇市職員労働組合
 那覇市会計年度任用職員等労働組合
 こくみん共済 coop沖縄推進本部
 こくみん共済 coop指定整備工場沖縄県協議会
 全日本港湾労働組合沖縄地方本部
 沖縄県労働金庫
 読谷村職員労働組合
 北谷町職員労働組合
 運輸労連沖縄県連合会
 大宜味村社会福祉協議会職員互助会
 ろうきん県庁地区推進委員会
 ろうきん本店地区推進委員会
 労金八重山地区推進委員会
 沖縄教組国頭支部女性部
 沖縄都市モノレール労働組合
 琉球セメント労働組合
 沖縄県教職員組合国頭支部
 沖縄電力総連
 おきさん労働組合
 全駐留軍労働組合沖縄地区本部
 ダブルツリーヒルトン那覇首里城労働組合
 沖縄県教職員組合 合同支部
 一般社団法人 沖縄全通共済会
 全糖労北部製糖支部
 沖縄県教職員組合島尻支部
 沖縄県教職員組合
 沖縄県職員退職者会
 沖縄県市町村職員共済組合職員労働組合
 名護療育医療センター労働組合
 株式会社 いしかわ文明堂
 有限会社新京建設互助会
 沖縄食糧労働組合
 (公財)沖縄中部勤労者福祉サービスセンター
 沖縄プラント工業労働組合
 嘉手納町職員労働組合
 自治労うるま市職員労働組合
 沖縄県教職員組合那覇支部
 シンパホールディングス株式会社
 沖縄県高等学校障害児学校教職員組合
 沖縄明治乳業労働組合
 全糖労久米島製糖支部
 NTT労働組合退職者の会沖縄県支部協議会
 全日本たばこ産業労働組合沖縄支部
 沖縄市職員労働組合
 全日本国立医療労働組合沖縄地区協議会
 沖縄県勤労者互助会
 沖縄ヤマト運輸労働組合

2024年度 団体寄付一覧 (54団体)

沖縄県職連合北部支部
 労働者福祉中央協議会
 沖縄電力生活協同組合
 日本トランスオーシャン航空労働組合
 北部地区労働組合協議会
 こくみん共済 coop沖縄推進本部
 こくみん共済 coop指定整備工場沖縄県協議会
 全日本港湾労働組合沖縄地方本部
 (有)大吉宅建
 沖縄県労働金庫
 一般社団法人 沖縄全通共済会
 労金北部地区推進委員会
 那覇市会計年度任用職員等労働組合
 那覇市職員労働組合
 ろうきん浦添普天間地区推進委員会
 沖縄県教職員組合国頭支部女性部
 ろうきん県庁地区推進委員会
 ろうきん宮古地区推進委員会
 ろうきん本店地区推進委員会
 浦添市職員労働組合
 ろうきん八重山地区推進委員会
 NTT労働組合退職者の会 沖縄県支部協議会
 高教組那覇工業高校定時分会
 全駐労沖縄地区本部退職者の会
 南西石油労働組合
 琉球セメント労働組合
 沖縄県教職員組合国頭支部
 全駐留軍労働組合沖縄地区本部
 沖縄電力総連
 ニライ消防職員協議会
 北谷町職員労働組合
 沖縄県教職員組合島尻支部
 ダブルツリーヒルトン那覇首里城労働組合
 沖縄市職員労働組合
 嘉手納町職員労働組合
 (公財)沖縄中部勤労者福祉サービスセンター
 全糖労北部製糖支部
 沖縄プラント工業労働組合
 全農林沖縄農場分会
 運輸労連沖縄県連合会
 沖縄県職員退職者会
 沖縄食糧労働組合
 沖縄県高等学校障害児学校教職員組合
 有限会社新京建設互助会
 自治労うるま市職員労働組合
 沖縄都市モノレール労働組合
 沖縄県教職員組合
 沖縄県教職員組合那覇支部
 全糖労久米島製糖支部
 全日本国立医療労働組合沖縄地区協議会
 沖縄県勤労者互助会
 イオン琉球労働組合
 沖縄ヤマト運輸労働組合
 中村敦司法書士事務所互助会

2025年度 団体寄付一覧 7月末現在

琉球セメント労働組合
 沖縄県教職員組合国頭支部
 沖縄県労働金庫
 沖縄電力生活協同組合
 北部地区労働組合協議会
 日本トランスオーシャン航空労働組合

定額自動寄付による支援団体

※団体名は口座名義で表示しています。2025年7月25日振替時点

JP労組沖縄地方本部
 私鉄沖縄県労働組合連合会
 沖バス労組
 沖縄県労働金庫労働組合
 沖縄バス労働組合 共済事業部
 沖縄電力労働組合
 沖縄ブルーシール労組
 県職連合 北部支部
 オリオンビール労働組合
 高教組 北部支部
 沖縄県職労宮古支部
 全糖労宮糖支部
 全糖労沖縄製糖支部
 沖縄教組 宮古支部
 竹富町職員労働組合
 全沖縄製糖労働組合石垣島製糖支部
 全港湾八重山部会
 JP労組八重山支部
 沖縄電力労八重山分会
 石垣市職員労働組合
 自治労石垣市職労
 沖縄県教職員組合八重山支部
 オキコ労働組合
 自治労与那原町職労
 八重山地区労金友の会
 普天間地区ろうきん友の会
 やんばる麦の芽会
 イオン琉球労働組合
 自治労連宮古島市職員労働組合
 病院労組中部病院支部
 西原町職員労働組合(一般)
 沖縄県第一次産業関連労働組合連絡会
 沖縄プラント工業労働組合
 沖縄県労働金庫共済会
 浦添地区ろうきん友の会
 那覇市職労 水道支部
 与那原地区ろうきん友の会
 八重瀬町職員労働組合
 司法書士法人想の樹
 全労済労働組合九州支部沖縄分会
 NPO法人 街のえんがわ山桃

支援団体(預り保育・場所提供)

NPO法人 ファミリーサポート・愛さん会
 保育すけっと in ナハ
 宜野湾ナザレン教会

まずは貯めぐせ!
100万円を貯めてみよう

財形貯蓄

エース預金



100万円を貯めるのって結構ハードルが高そう…?

財形貯蓄やエース預金の自動積立を利用すれば、自分でやりくりする手間もなく、着実に貯まります!

貯蓄体質をつくるコツ/

× 給料 - 生活費 = 貯蓄
○ 給料 - 貯蓄 = 生活費

毎月の給料・一時金からあらかじめ決めた金額を天引して積み立てるから給与天引きで先に貯蓄した後、残ったお金でやりくりする癖がつかます!

積立額が目安

	目標	毎月積立額	一時金積立額	貯蓄額
毎月積立て で貯める!	5年で100万円	17,000円	—	1,020,000円
	3年で100万円	28,000円	—	1,008,000円
	2年で100万円	42,000円	—	1,008,000円
	目標	毎月積立額	一時金積立額	貯蓄額
毎月積立てと 一時金で 貯める!	5年で100万円	10,000円	40,000円	1,000,000円
	3年で100万円	20,000円	48,000円	1,008,000円
	2年で100万円	30,000円	70,000円	1,000,000円
	目標	毎月積立額	一時金積立額	貯蓄額
一時金で がっちり 貯める!	5年で100万円	5,000円	70,000円	1,000,000円
	3年で100万円	10,000円	107,000円	1,002,000円
	2年で100万円	20,000円	130,000円	1,000,000円

※一時金は年2回積立てるものとして試算しています。「一時金積立額」は年2回のうち1回の額を記載しています。

メリット
1

給与天引きで着実に貯蓄!

毎月の給料や一時金から天引き・積み立てされるので計画的に貯蓄ができます。お勤め先によっては財形貯蓄がご利用いただけない場合がございます。その際は、普通預金から自動振替し積み立てできる「エース預金」をご検討ください。

メリット
2

元本保証で安心!※1

定期預金で運用しているから大切な資産もしっかり守れます。

※1 預金保険の対象であり、同保険の範囲内で保護されます。

詳しくはろうきん
ホームページを
チェック

財形貯蓄



エース預金



ろうきん
働くあなたの笑顔にあいたい

こくみん共済 NEWS

こくみん共済

個人定期生命共済・子ども定期生命共済・熟年定期生命共済・傷害共済・個人賠償責任共済・終身生命共済・個人長期生命共済

子育て中のママやパパの声を
取り入れた共済です。

4725Z002



子育てする
ママとパパ
を応援!

0歳から
加入できる、
総合保障
お子さまの
加入できる、

こども 保障タイプ

月々の
掛金

1,200円



▶加入できる方 0歳~満17歳の健康な方
▶保障期間 最高満18歳の契約満了日まで保障

▼保障内容

入院保障

日額 10,000円

・交通事故、不慮の事故、病気等
・入院時諸費用サポート共済金を含む
・日帰り入院も保障
・1日目から最高365日分

ケガで通院したとき

日額 2,000円

・交通事故、不慮の事故
・1日目から最高90日分

骨折・腱の断裂、
関節の脱臼をしたとき

5万円

・交通事故、不慮の事故

※ここに掲載されている内容は、共済商品の概要を掲載したものです。加入できる年齢・条件、詳しい保障内容などは「ホームページ」「リーフレット」にてご確認ください。こくみん共済 coop までお問い合わせください。

こくみん共済

全国労働者共済生活協同組合連合会 coop

沖縄推進本部(沖縄県共済生活協同組合)

こくみん共済 coop 沖縄

検索



子育て世帯を
サポート!

こども保障タイプにご加入いただいた方が
専用ホームページからご利用いただける
サポートサービスです。

育児のお悩みから進路相談まで、
子育て・教育のエキスパートが
メールで直接お答えします。

相談
無料

こくみん共済
こども相談室



お子さまの勉強



ママ・パパの育児

なぜ?なに?
相談

学習相談

進路相談

集団生活
でのトラブル

妊娠・出産

離乳食の
アドバイス

相談スタッフ:
大学講師、予備校講師など

相談スタッフ:
保育士、看護師など

専用のホームページアドレスは、ご加入後、共済契約証書送付時にご案内します。

共済ショップ那覇店

那覇市古波蔵3-19-1

TEL.098-833-6016

共済ショップ中部店

中頭郡北谷町字上勢頭813-3

TEL.098-926-6031

【営業時間】月~金 9:00~17:00

第1・第3土曜日は10:00~16:00(予約優先)

(第1・第3土曜日以外の土曜日・日曜日・祝日は休み)

【営業時間】月~金 9:00~17:00

第2・第4土曜日は10:00~16:00(予約優先)

(第2・第4土曜日以外の土曜日・日曜日・祝日は休み)

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

〈0150 ゆめ・みらい運動!〉に ご参画をお願いします!

マルイチゴウマル

〈0150 ゆめ・みらい運動!〉とは、「1人一口50円(月額)の寄付で、沖縄の子ども達の夢と未来を支えよう!」というもので、本基金を通じ、「子どもの貧困」とその根底にある「親の貧困」問題の改善・解決をめざす運動です。〈ろうきん〉の普通預金口座をお持ちの方なら「定額自動寄付」※のお申し込みをいただくことで、どなたでもご参画いただけます。

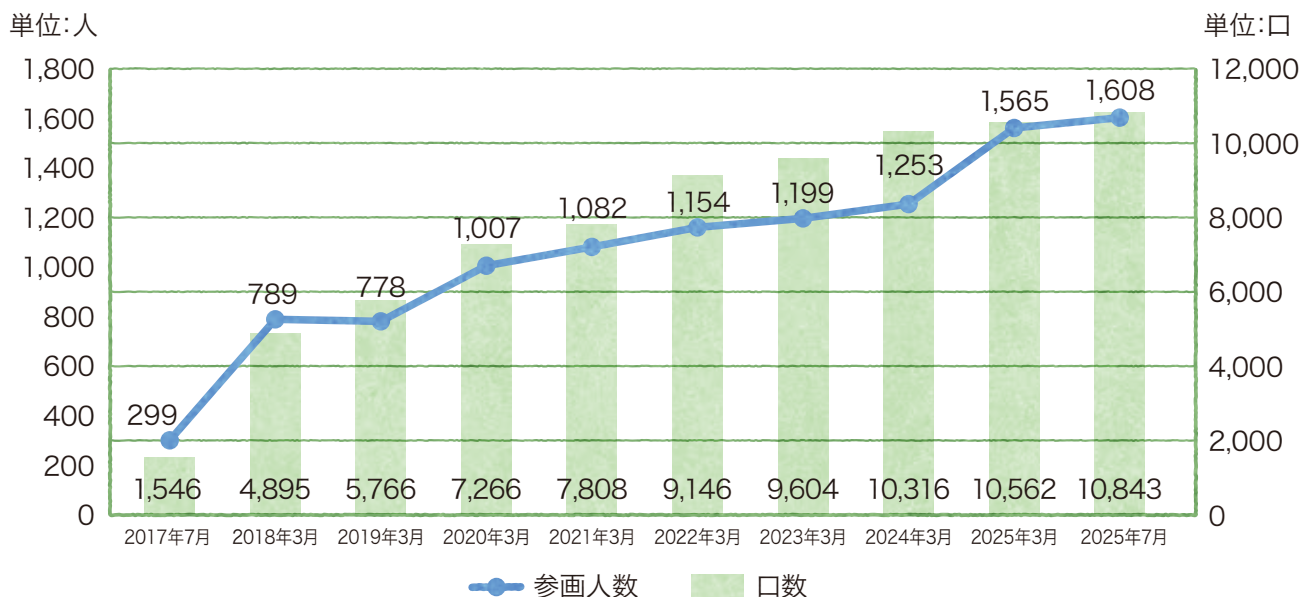
2024年度は、〈ろうきん〉各地区推進委員会や友の会、労働団体の取り組みによって合計6,245,900円(2024年4月～2025年3月)の寄付が寄せられ、2025年3月現在では「10,562口(月額528,100円)」のお申し込みをいただき、目標の1万口維持を達成することができました。運動に参画いただきましたみなさまに、心より感謝申し上げます。

引き続き、〈ろうきん〉と〈こくみん共済 coop(全労済)沖縄推進本部〉では、基金の安定運営に向け「1万口(月額50万円)」維持を目標に今後も運動を展開していきます。「1万口」を維持することができれば、基金の安定運営が実現するだけでなく、会員や協力団体の意見・要望を叶えるカタチでの支援の拡充につなげることができると考えています。

※「定額自動寄付システム」＝ 毎月ご希望の寄付額(1口50円とした定額)を、ご指定のろうきん口座から自動振替によって基金へ寄付する制度。

目標の1万口達成しました!
目標 1万口維持!
(月50万円・年間600万円)

1万口を維持することで、基金の安定運営と、
会員・協力団体の希望を踏まえた支援の拡充につなげよう!



各会員・協力団体構成員(組合員・共済会員等)への参画の呼びかけについて

「定額自動寄付システム」は、多くの方が無理なく(缶ジュース1本程度の節約で)参画できるように、一口あたりの申込み額を50円としました。また、「支えられた人が、支える側として参画しやすいように」という思いも込めた設定額としています。

引き続き多くの会員・協力団体の構成員のみなさまに「ろうきん こくみん共済 coop 働く仲間のゆめ・みらい基金」を知っていただき、「共助の輪」を広げる取り組みへご参画いただくため、各組織の定期大会(総会)議案書や機関誌へ基金の関連情報を掲載いただき、構成員のみなさまへ参画を呼びかけていただきますようお願いいたします。

(〈沖縄ろうきん〉・〈こくみん共済 coop(全労済)沖縄推進本部〉・〈沖縄県労協〉)のホームページにも基金に関する情報を掲載しています。どうぞご活用ください。



ろうきん　こくみん共済 coop　働く仲間のゆめ・みらい基金

定額自動寄付システムのご案内

(この用紙は、コピーしてご利用いただくことも可能です。)

本用紙に必要事項を記入いただき、
お近くのろうきんまでご提出ください。

ろうきんにて、ご希望の金額の登録をします。

お申込みいただいた内容にもとづき、ご希望の寄付金額の登録を行います。
事務手続きのため、開始まで約1ヶ月程度かかることがあります。

お客さまの口座から、口座振替を開始します。

お申込みいただいた内容で、ご寄付を開始します。振替日は25日です。25日
がろうきんの休業日の場合は翌営業日になります。

■寄付金額等について

寄付金額設定は1回につき50円以上、50円単位でお願いします。
寄付を終了する場合（ご辞退）は、窓口まで届出をお願いいたします。
基金の継続的な運営支援にご協力いただき、心より感謝申し上げます。

■口座振替手数料はろうきんが負担します。

通帳でご寄付内容をご確認ください。
通帳には「ユメ　ミライキキン」と印字されます。

■領収書の発行は控えさせていただいております。

基金運営に係る経費を削減し、寄付金を最大限支援に活用するため、領収書の発行は控えさせていただいております。
確定申告等に使用するため、領収書をご希望の方は、通信欄にその旨をご記入ください。

※なお、ご希望された方の領収書については、毎年2月に
前年1年分を取りまとめ、送付させていただきます。

ご辞退・(ご変更)は1ヶ月前にお届けください。

ご辞退や金額変更等は、届出をいただいてからろうきんの
引落しが中止(変更)になるまで1ヶ月ほどかかります。お早
めにお届けいただきますよう、お願いいたします。

「ろうきん　こくみん共済 coop　働く仲間のゆめ・みらい基金」定額自動寄付申込書

20 年 月 日

お名前	フリガナ					
おところ	〒 -					
	TEL - -					
ご寄付月	振替日	毎月の引落金額				1口50円～ 50円単位
毎月	25日 (金融機関休業日の場合は、翌営業日)	万	千	百	十	
通信欄(確定申告等に使用するため「領収書」をご希望の方は、その旨をご記入下さい。また、お申し込みのきっかけや動機などについてもお聞かせください。)						



✂
キ
リ
ト
リ
線

預金口座振替依頼書 沖縄県労働金庫 御中 収納企業(団体)名 (公財)沖縄県労働者福祉基金協会

新規	本依頼書のとおり、私名義の指定預金口座から口座振替の方法により支払うこととしたいので、下記規定を確認のうえ依頼します。
変更	今般、都合により本依頼書のとおり変更しますのでお届けします。
解約	今般、都合により本依頼書のとおり解約しますのでお届けします。

預金者名 (法人の場合はお届けの とりの代表者名も記入)	フリガナ	お届 出 印

金融機関名	沖縄県労働金庫	店番号			
預金種目	1. 普通(総合)	口座番号			

寄付金(自動会計)

振替先名称	ろうきん　こくみん共済 coop 働く仲間のゆめ・みらい基金	振替金額	定額自動寄付申込書のとおり	自振コード	47420028
-------	-----------------------------------	------	---------------	-------	----------

預金口座振替規定	1. 私が口座振替を依頼した表記の取扱いについては、私の指定預金口座から以下のとおり引落しのうえお支払ください。
	2. 指定預金口座の残高が支払日において請求書または表記の記載金額に満たないときは、私に通知することなく請求書の返却、振替の中止が行われてもさしつかえありません。
	3. 引落としにあたっては、預金規定または当座勘定規定にかかわらず通帳および普通預金払戻請求書の提出または小切手の振出はいたしません。
	4. 私の指定預金口座からの引落としにあたっては、貴金庫所定の順位で引落してください。
	5. 貴金庫の都合により、振替日に指定預金口座から引落しできなかったときは、この日以外の日に引落し振替しても異議ありません。
	6. この預金口座振替契約を解約するときは、貴金庫所定の書面によりお届けします。なお、この届出がないまま、私が指定預金口座を解約した場合、また2年以上にわたり引落しがない場合、その他、貴金庫が必要と認めたときは、私に通知することなくこの契約を解除されても異議ありません。
	7. この取扱いについて、かりに紛議が生じても、貴金庫には迷惑をかけません。

金融機関使用欄		
(不備返却事由)		
1. 預金取引なし	3. 印鑑相違	
2. 記載事項等相違	4. その他	
店名、預金種目 口座番号、口座名義(備考)		

検印	印鑑照合	受付印

(CIF:)



検印	精査印	取扱者印

(本部)

2025年8月現在

「ろうきん　こくみん共済 coop　働く仲間のゆめ・みらい基金」に関するお問い合わせ先

公益財団法人 沖縄県労働者福祉基金協会(基金運営事務局)

〒900-0021 沖縄県那覇市泉崎1-20-1カフーナ旭橋A街区6階 TEL:098-860-7845 FAX:098-894-7835